

平成30年 第16回 東京都知事杯争奪「さわやか少年野球大会」 競技上及び審判上の注意事項

1. **ベンチ**は抽選番号の若いチームが一塁側とし、**先攻後攻**は、両チームの主将がジャンケンで決める。
2. **チームの集合**は、試合開始予定時間30分前とし、大会本部へ、登録書（選手名簿）原本、メンバー表4枚（直筆1枚[本部用]、と複写3枚[球審及び対戦チーム、自チーム用]）を提出する。開始予定時間に集合しないチームは、不戦敗とする。（登録選手が9名に満たない場合も同様である。）
※二試合目以降の場合、前試合の本部で受取をし、先攻後攻はその時点で決める、
（メンバー表のチェックは当該試合本部で行う）
また、大会本部にて、監督・コーチ・選手は整列により、登録書原本と氏名・背番号の整合性の確認を受ける。
3. **シートノック**は行わない。
 - ・前試合一時間経過後から、バッテリー組とコーチ一名でピッチング練習を可能とする。
（場所については、審判員の指示に従う。総合グラウンドの場合はC面。）
 - ・前試合終了後、15分後に当該試合を開始する。（その間にアップ、キャッチボールをする）
4. **準備投球**
投手（救援投手を含む）の準備投球は、初回に限り1分を限度として5球以内、次回からは3球以内とする。
5. **イニング**
試合は7イニングとし、1時間30分にタイマーをセットし、7イニング以前に時間がきた時は、もう1イニング行う。（例：5イニング目にタイマーが鳴った場合は、6回が最終イニング）
※但し、決勝戦は試合時間の制限はせず、コールドゲームは適用し、同点の場合は特別延長戦で試合を続行する。
6. **コールドゲーム**
得点差によるコールドゲームは、4回終了時10点差、5回終了時7点差とし、降雨、日没などによる正式試合の成立は、5回完了時とする。
7. **タイブレーク方式**
7回終了時または制限時間が過ぎても同点の場合は、タイゲームとして正式試合を打ち切り、特別延長戦で続行する。特別延長戦は、最大2イニングとし勝敗が決しない場合は、抽選によって勝敗を決定する。【特別延長戦】無死満塁、継続打順で行う。
8. 背番号は選手0～99番（主将は10番）、監督30番、コーチ29、28番に統一する。登録はすべて男女を問わず、選手登録は10名以上20名以内とする。
9. 試合中にベンチに入れる大人は、チーム代表者（引率責任者）・監督・コーチ2名・スコアラーの計5名以内とする。
10. 服装については、監督・コーチ・選手は統一のユニフォームを着用する。代表者・スコアラーは私服とし、必ずチーム統一の帽子を着用すること。
11. 抗議のできるものは、監督と当該プレーヤーとし、グラウンド内での指示は監督が行う。
12. 打者・走者・次打者・ベースコーチは、両側にイヤーフラップのついたヘルメットを着用すること。
13. 捕手のマスク及び金属・ハイコンバットは、JSBBのマークの入ったものを使用すること。
14. 捕手は危険防止のため、レガーズ・プロテクター・マスク(スロートガード付き)・ヘルメット・ファールカップを着用すること。投球練習時にもレガーズ・プロテクター・マスク(スロートガード付き)・ヘルメットを着用すること。
15. 投手が変化球を投げることを禁止する。ペナルティーは「競技者必携」を参考とする。
16. **投手の投球制限**
1日7イニングまでとする。ただし特別延長戦の直前のイニングを投げ切った投手に限り、1日最大9イニングまで投げるができる。
17. 原則として「全日本軟式野球連盟規定の野球規則」を準用する。
18. グラウンドルールは主催連盟（練馬区軟式少年野球連盟）審判部の指示に従う。